

## 「Global Platform for Disaster Risk Reduction 2022」に参加しました（2022/05/23-28）

テーマ：防災政策、仙台防災枠組、SDGs、国際連携、社会実装

会場：インドネシア パリ島

URL：<https://globalplatform.undrr.org/>

<https://globalplatform.undrr.org/conference-event/drr-strategies-drr-investments-keys-successful-implementation-sendai-framework>

<https://sendaicommitments.undrr.org/highlights/105#highlight-views-top-area>

2022年5月23日から28日にパリ島で開催された Global Platform for Disaster Risk Reduction (GPDRR) 2022 に、当研究所の小野裕一教授、佐々木大輔准教授、原裕太助教（以上、2030 国際防災アジェンダ推進オフィス）、当研究所が参画する本学の変動地球共生学卓越大学院プログラム (SyDE) の大学院生 6 名が参加しました。

当会議は、国連防災機関 (UNDRR) と開催国政府が主催し、2 年に 1 度開催される全世界を対象にした国際会議です。第 7 回となる当会議には、世界 185 の国・地域から約 4,000 名の政府関係者、研究者、企業セクター、NPO・市民団体、その他多様なステークホルダーが参加し、およそ 4 割を女性が占めました (UNDRR 発表より)。日本政府からは内閣府の大野敬太郎副大臣、村上威夫参事官 (普及啓発・連携担当) らが参加しました。

このうち 5 月 25 日には、日本政府とインドネシア政府が共催するセッション「From DRR Strategies to DRR Investments-Keys to successful implementation of the Sendai Framework beyond the Global Target E」が開かれ、小野教授が講演者・パネリストを務めました。当セッションは、2030 年までの防災分野の国際協定である「仙台防災枠組 2015-2030」のターゲット E「2020 年までに国家・地方レベルの防災戦略を有する国家数を大幅に増やす」をさらに前進、飛躍させることに焦点を当てたもので、小野教授のほか、インドネシア国家防災庁 (BNPB) の Raditya Jati 博士、郡和子仙台市長、国連開発計画 (UNDP) の Angelika Planitz 氏が基調講演を行い、西川智名古屋大学教授がモデレータを務めました。また竹谷公男国際協力機構 (JICA) 防災分野特別顧問 (2030 国際防災アジェンダ推進オフィス・特任教授 (客員)) が話題提供を行いました。

このなかで小野教授は、2022 年に発足した災害レジリエンス共創センターのコンセプトや、日本発の市民参加型国際会議「世界防災フォーラム」、上述の卓越大学院プログラムをはじめ、当研究所や本学が進めてきた総合的な災害レジリエンス向上を目指す分野横断、産学官民連携の成果、今後のビジョンについて発表しました。

同日には、本会議場内で開催された Ignite Stage に佐々木准教授が登壇し、当研究所の 2020~2021 年度共同研究助成採択課題「治水投資額と被害軽減効果の将来予測における新展開」に係る研究成果を基に、減災・防災、気候変動適応に向けた投資の重要性について発表を行いました。また発表に先立ち、今村文彦所長 (津波工学研究分野) が録画による基調講演を行い、仙台防災枠組の実施を支援する当研究所の取組みを紹介しました。

以上のセッションでは、参加者に当研究所の英文パンフレット等を配布し、当研究所の理念と実績を世界に向けてさらに広く発信しました。

26 日から 27 日には「仙台防災枠組 2015-2030」の中間レビューセッションが開催されました。各国・地域、各機関の代表者から公式声明 (official statement) が読み上げられ、それぞれの進捗状況と今後の方針が共有されました。

(次頁に続く)

また 28 日には、当会議が主催するフィールドワークが開催され、卓越大学院プログラムの学生らが参加しました。Trip-3 では、小野教授も関わって UNDP と日本政府の支援等で進められてきた、バリ島南部沿岸域の中学校での地震・津波避難計画と避難訓練の様子が、生徒らのデモンストレーションを通じて紹介され、多くの会議参加者の高い関心を集めていました。このほか、会議期間中を通じて、教員それぞれが、関係する国連職員、国内外の政府関係者、研究者、民間セクターらと有意義な意見交換を行い、議論を深めました。

文責：小野裕一、佐々木大輔、原裕太（2030 国際防災アジェンダ推進オフィス）



日本政府—インドネシア政府セッションで講演する小野教授



Ignite Stage に登壇する佐々木准教授と今村所長による基調講演（録画）



小野教授、原助教、卓越大学院プログラムの大学院生



仙台防災枠組 2015-2030 中間レビューセッションの様子



避難訓練の様子を披露するバリ島の生徒



中学校に掲載されていた津波ハザードマップ